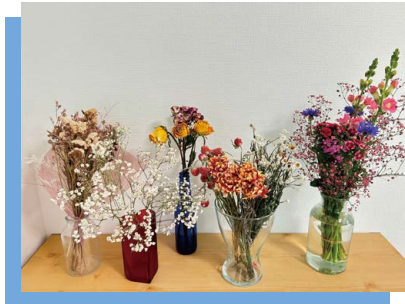


吉田重雄さん



お花



日常記憶地図



## HARUKA KONDO

AGE

23



今号の表紙

杜の家なれた  
生活支援課 ケアサービスワーカー

## 6つのこと 近藤春佳さんの

ケアコラボ



ランタン



フラワーアレンジメントをやっていた祖母や、花好きの母の影響もあって、私もお花が大好き。子どもの頃から生花がいつもそばにありましたし、いまはユニットにお花を植えたりもしています。これも私が好きに飾り付けたクリスマスツリーで、時季が過ぎたあとの片付けを吉田重雄さんが手伝ってくれているところです。ユニットでは、入居さんの暮らしぶりをできるだけ写真や動画で記録してケアコラボにアップします。イベントよりも日常的な場面が中心で、新聞を読む、髪をとかす、楽しそうな食事といった普段の生活の様子を、ご家族にお伝えできたらなって。

吉田さんは先日、味噌汁用のネギを切ってくれたんですが、めちゃくちゃ上手で、すぐ動画に撮って他の職員にも共有しました。介護職として、ご本人がもっている力を活かすケアを実践するためにも、その力を発見できるのはとてもうれしい瞬間です。

また、現在のことだけでなく、入居さんのこれまでの人生をもっと知りたくて「日常記憶地図」という方法を勉強しはじめました。過去に暮らした地域など、思い入れのある場所の地図を広げて、出来事や思い出を書き込みながら、その人の人生を振り返る方法です。しっかり勉強して、いずれ入居さんと一緒に使ってみたいですね。

休みの日は、一人でも友だちとでも、とにかくどこかへ出かけます。いまは特にキャンプが楽しい！最近買ったランタンは、好きなユーチューバーの「sasayui」が紹介していたのを観てすごく欲しくなって、ちょっと高かったけど奮発しました。雲間のある光がめっちゃきれいで癒やされましたね。ずっと変わらない一番の癒しは、実家にいる愛犬のオレオ。これは今年の正月、家族旅行のときに撮った思い出の1枚です。実家は千葉県内で近いので、疲れやストレスを感じたら、仕事帰りにすぐ会いに行っちゃいます！

オレオ



## 経理の仕事から

### 介護現場の改善につなげる

しのつか  
篠塚早織さん(50)は、コーポレート統括部・財務経理課で、法人全体のお金の管理を担当している。2007年に福祉楽団に入職し「杜の家やりもと」の庶務会計課で働いていたが、2013年に異動し経理の仕事を開始した。きっかけは、当時の経理部の人から「ぜひ篠塚さんをお願いしたい」と誘われたこと。「もともと数字に強いわけではなかったのですが、会計の仕事は少しだけ経験があったので、思い切って挑戦しようと思いました」と振り返る。

「複雑なデータをミスなく処理できたときや、貸方と借方の数字がピッタリ合ったときは気持ちが良い(笑)。今では私に向いている仕事かもしれないと感じています」。篠塚さんが仕事で大切にしていることは、「法人で起きている出来事を、自分から知ろうとすること」だ。「会計の仕事は、お金を『誰が、どこで、何に使うか』を、きちんと把握することが基本。だからこそ、職員のみなさんの仕事や会社のことをよく理解したうえで仕事をしなければ」と語る。ケアの現場から離れた場所で働いているからこそ、法人内のコミュニケーションツールの「スラック」や「サイボウズ」を使い、ニュースや出来事をチェックするこ

とを日課にしている。

福祉のことをより知るために、2017年に通信制の4年制大学に入学し、仕事と学業を両立させながら「社会福祉士」の国家資格を取得した。最近では、経理の仕事に活かすため、独学で「Microsoft Office Specialist (MOS)」の資格も取得。スキルアップのために挑戦し続けている。

今後の目標を聞くと、「変化に対応しながら、ケアの現場が滞りなく運営されるよう努めたいです。新しい目標や大きな成果も大切だけど、日々の業務の中で小さな改善とアクションを積み重ねていくことを大切にしたい」と語った。

堅実に仕事を積み重ねながらも、変化や挑戦を恐れない篠塚さん。その仕事ぶりが今日もケアの現場と経営を支えている。



text :  
コーポレート統括部  
松井 周星

## FAMILY

## きっかけは上映会

### 杜の家で学習する3人兄弟



左から元紀さん(三男)、太紀さん(長男)、公紀さん(次男)、珠代さん

「杜の家やしお」で実施している「学習支援」を兄弟3人で利用している横山太紀さん(中学3年)・公紀さん(中学1年)・元紀さん(小学5年)と、母の珠代さんにお話を聞いた。

兄弟は、3人とも勉強よりも体を動かすことが得意な野球少年だ。長男の太紀さんが中学生になるころ、珠代さんは勉強についていけるか不安になり、自ら勉強を教えたが「人に教えるのって難しいな」と感じた。塾に通うことも考えたが、塾代が3人分かかることもあり、なかなか踏み出せずにいた。

ある日「杜の家やしお」で映画の上映会があると聞き、親子で施設を訪れた。施設のフリースペースを「NPO法人つながるネットワーク八潮」さんが使用し、アニメを上映。珠代さんはそこで「杜の家やしお」での学習支援の存在を知り、マンツーマンで勉強を教えてもらえることが利用の決め手になった。

2022年9月からこれまで一度も休むことなく、毎週水曜日に通っている。珠代さんは「週に一度でもしっかりと勉強する時間ができました。3人とも勉強に意欲が出てきたように感じます。何より、来るのが楽しそうなのがうれしいです」と笑顔で話す。兄弟は「杜の家に来るのが楽しい」「わからないところを質問できるから、わかるようになった」と口をそろえる。3人の夢はプロ野球選手。長男の太紀さんはお父さんと同じ整骨院で働いてみたいと話していた。

場所を貸して開催したイベントが出会いを生み、地域に住むお母さんの悩みがちっと解消された。きっかけをつくってくれた「つながるネットワーク八潮」さんや、学習支援のボランティアの先生には心からの感謝をお伝えしたい。

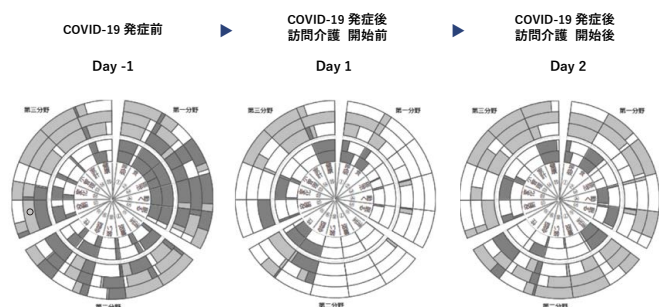


text :  
杜の家やしお  
阿部 恵祐

## 日本医学会総会で介護分野から唯一の学術発表

2023年4月21日から23日まで東京・有楽町にある東京国際フォーラムで、「第31回日本医学会総会」が開催されました。4年に1回開催される歴史ある学術集会です。「ポストコロナの保健医療システムの在り方」というセッションに福祉楽団・理事長の飯田大輔が招へいされ「COVID-19 パンデミックを経験して地域介護・福祉を問いなおす」という題目で研究発表を行いました。（コーポレート統括部／原田貴征）

発表では、訪問介護事業所のケースでコロナ感染が判明した直後にすべての介護、医療サービスの提供を断られ、ゆくあてなく福祉楽団に相談があった要介護者の事例などを紹介しました。こうした要介護者の生活をチャート化し、生活がどのように変化したのかを考察しました。



チャートの黒色は「できている」、灰色は「介護などの援助でできている」ことを示します。白色のところは生活が整っていないところ

で、その部分に対して援助が必要です。図では、主介護者や要介護者がコロナに感染した途端、白が目立ち、生活が困難になっていることがわかります。そこに訪問介護を緊急で提供することで、再びチャートに灰色のところが増えてきています。

コロナのパンデミックでは医療が優先され、介護の在り方は、ほとんど注目されませんでした。生活が整っていなければ、良い医療を提供しても病気は回復していきません。きちんとした介護は、効率のよい医療にもつながります。「緊急事態」により入院できない患者が多数発生したときは対象者の年齢や要介護認定の有無などを問わず訪問介護が提供できるようにすることが必要です。また、介護福祉士の基礎教育において、危機管理やリーダーシップなどコンピテンシーを訓練するプログラムや、標準予防策といった感染対策のスキルを修得させることが不可欠です。次のパンデミックを見据えて、具体的な政策を考える提案を行っています。

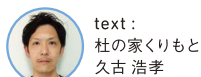


text:  
理事長  
飯田 大輔

## PROJECT

### 「杜の家くりもと」大規模修繕完了 まだまだやれます！

開設して20年が経った「杜の家くりもと」は、2022年10月から、6,039万円をかけて大規模な修繕工事を行いました。6か月の工事期間中は、入居者さんや職員、近隣の人たちのご協力をいただきながら、屋上の防水工事やテラスの改修、居室や廊下のクロスの張り替え、建物の外壁塗装などを行い、安全性と快適性を確保しました。この土地は地盤が良く、2011年の東日本大震災でも大きな損壊はありませんでした。2019年の台風15号では、ライフラインを失ったグループホームの入所者を受け入れたりお風呂を地域に開放したり、福祉避難所としての機能を果たしました。これからもここで生活する人や地域のために活躍していきたいと思えます。



text:  
杜の家くりもと  
久古 浩孝

## ACTION

### 千葉県香取市の生活困窮者等 自立支援事業を受託しました

「香取CCC」は『いつでも だれでも どんなことでも』を掲げ、切れ目のない相談支援と地域づくりを使命に、2022年度は延べ6,400件以上の支援に取り組みました。2023年度は新たに千葉県香取市の「生活困窮者等自立支援事業」を受託しました。既存の事業である「千葉県中核地域生活支援センター事業」や千葉県香取郡の「生活困窮者自立相談支援事業」などと併せて、拠点をJR佐原駅の南側に移し、新たに活動を始めています。さまざまな理由により困難を抱える人が排除されることなく、その「くらし」が少しでも良くなるよう、地域と協力しながら根気強く伴走を続けていきます。

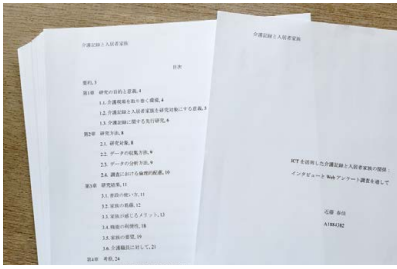


text:  
香取CCC  
高木 亜希子

## COVER STORY

杜の家なれた生活支援課 ケアサービスワーカー

### 近藤春佳さん



大学の卒業論文のテーマは『ICTを活用した介護記録と入居者家族の関係』で、「ケアコラボ」について。教授に福祉楽団を薦められてその存在を知り、老人ホームに入居している祖母の様子を知りたいと思った自身の経験がきっかけでテーマを決めました。今ではご家族に日常が伝わるように、写真や動画も駆使しています。投稿を通じて、入居者さんの様子とともに近藤さんの明るく前向きな性格もご家族に伝わっていることでしょう。



text:  
コーポレート統括部  
原田貴征

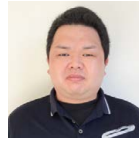
## VOICE

ご利用者やご家族などからハガキやメールなどで寄せられた「声」に対して、職員がお答えします。

ご意見

【杜の家なれた／就労継続支援B型】  
施設の行事や勉強会で、支援員の方に写真や動画を無断で撮影されました。これは肖像権の侵害にあたるのではないのでしょうか。

お答えします



西山 啓介

杜の家なれた  
地域福祉サービス部 部長

事前に撮影の目的を説明して同意をいただくべきところ、対応が至らず大変申し訳ありません。支援の記録として利用中の様子を撮影することがありますが、今後は事前の説明と同意をいたします。

※掲載しているご意見の内容は個人情報の保護の観点から編集をしています。

## TOPICS

### 01 「地域ケアそうか」新事務所オープン

地域の相談事業などを行う「地域ケアそうか」は、草加市役所の近くで新事務所を開設しました。6月からは、訪問介護や居宅介護支援なども実施する予定です。対象者や分野にとらわれずワンストップで相談に対応します。用事がなくてもお気軽にお立ち寄りください。

〒340-0015 埼玉県草加市高砂  
1-12-48 ドーム・ヨシタケ I 1C  
事業所名：地域ケアそうか 電話：048-954-4141

### 02 食事サービス研修を行いました

3月29日に「恋する豚研究所」(千葉県香取市)で、特別養護老人ホームなどの調理、給食を担当している職員向けの研修を行いました。当日は、福祉楽団の職員9名と、他法人の職員12名の合計21名が参加し、原価計算から食材の選び方を学びました。研修のなかでは多くの食材の食べ比べなども行われ、意見交換が白熱しました。神奈川県の愛川舜寿会の栄養士さんは「食事の質を落とさずに食材原価率を適正化していくヒントが得られた」と感想を寄せてくれました。

### 03 合格おめでとう! (50音順・敬称略)

#### ●介護福祉士

・アビ ・内野洋子 ・越川美佳 ・西山啓介 ・茂木美瑛樹  
・有泉彩香 ・片山侑香里 ・白石圭太 ・野口恵梨 ・ラハマン  
・イマム ・加藤那奈 ・多田里奈 ・フィリ アウリア ・ラムリ

#### ●社会福祉士

・片山侑香里  
・加茂航平  
・元村志織

#### ●精神保健福祉士

・奥住比沙子  
・佐藤藍  
・多辺田佳代子  
・箕野有紗  
・山口美由貴

#### ●介護支援専門員

・石川大輝  
・加藤沙季

#### ●看護師

・宮崎恵

#### ●准看護師

・本橋百合子

### 04 学位取得(学士)おめでとう!

#### ●学士(人間福祉)

・本橋百合子

#### ●学士(社会福祉)

・藤崎祐太

### 05 人事異動のお知らせ(2023年8月1日付)

#### ●新・杜の家くりもと 事業部長

・上野興治

(旧・ケアチームジョブマネージャー)

#### ●新・栗源事業部 地域ケアサービス部 部長

・久古浩孝

(旧・杜の家くりもと 事業部長)

## 視察の受け入れ

【期間：2023年2月1日～2023年4月30日】

ユニバーサル就労ネットワークちば(2名)、香取市立わらびが丘小学校(16名)、社団法人愛福家協会・台湾(26名)、社会福祉法人全国社会福祉協議会(5名)、NPO法人くらし応援ネットワーク(3名)、社会福祉法人愛川舜寿会(4名)、社会福祉法人希桜会(1名)、社会福祉法人五彩会(4名)、株式会社福寿会(3名)、社会福祉法人ライフの学校(2名)、明治大学研究員(2名) ※順不同・敬称略

## ご寄附をありがとうございました

【期間：2023年2月1日～2023年4月30日】

香取市立わらびが丘小学校、青木正勝、三輪恵司、長谷川隆、関根智昭、向後仁志、横山和子、濱名英倫、田島勝吾  
その他お名前の非公表など39名

※順不同・敬称略

## NEW MEMBER

# 福祉楽団に新しい仲間が増えました!

1. 出身地  
2. 出身校・学部  
3. 好きなもの・こと  
4. 将来の夢

杜の家くりもと



すがわら なつき  
**菅原 夏希**

1. 北海道旭川市
2. 北海道教育大学函館校 教育学部
3. 温泉巡り
4. 居場所がないと感じている人に居場所をつくりたい!

七転八起



つくい ひとみ  
**津久井 瞳**

1. 茨城県下妻市
2. 東京外国語大学大学院 総合国際学研究科
3. スケッチ
4. 柔軟だけど芯のある人

けせうせう



にしざわりょう  
**西澤 凌**

1. 千葉県流山市
2. 武蔵野大学 人間科学部
3. ゴルフ
4. なんでも分かち合いたいと思ってもらえる人になる

一念通天

杜の家やしお



あおやぎ すずか  
**青柳 涼花**

1. 埼玉県草加市
2. 埼玉県立八潮南高等学校
3. カラオケ
4. カラオケに住みたい!

何とかなる



ふかい まき  
**深井 茉希**

1. 埼玉県越谷市
2. 武蔵野大学 人間科学部
3. アイドル
4. プロになりたい!

努力感謝笑顔



やまざき りほ  
**山崎 莉歩**

1. 東京都杉並区
2. 東京農業大学 応用生物化学部
3. お菓子・パン作り
4. 自然に囲まれた場所に住む

のびしろ



ひくち はるか  
**樋口 遥香**

1. 東京都江戸川区
2. 武蔵野大学 人間科学部
3. ハンドメイド雑貨
4. 日本全国を旅行したい!

自分らしさを大切に!



ふるいち ちなり  
**古市 智奈里**

1. 神奈川県平塚市
2. 立正大学 心理学部
3. カメラ
4. 自分も周りの人も大切にしたい!

絶対大丈夫

杜の家なりた



あづま りか  
**吾妻 梨香**

1. 千葉県成田市
2. 大原学園 千葉校保育コース
3. EXO (K-POP)
4. シベリアンハスキーを飼う!

日進月歩



ねもと まい  
**根本 真衣**

1. 茨城県稲敷市
2. 東洋大学 ライフデザイン学部
3. 服のショッピング
4. 「この人に頼りたい」と思われる人になりたい

雲外蒼天



まの ありさ  
**間野 安里彩**

1. 千葉県印西市
2. 東北福祉大学 総合福祉学部
3. 美味しいものを食べること
4. 入居者様が安心して頼れる人になりたいです

初志貫徹



しゅう らくゆう  
**周 楽融**

1. 中国黒竜江省
2. 淑徳大学短期大学部
3. カラオケ
4. 立派なソーシャルワーカーになりたい!

みんながって、みんなしい



ひらかわたつき  
**平川 樹**

1. 千葉県佐倉市
2. 筑波大学 人間学群
3. 水泳
4. 地域の居場所支援

なるようになる



もとみや ゆい  
**本宮 優衣**

1. 千葉県印旛郡酒々井町
2. 国際医療福祉大学 赤坂心理・医療福祉マネジメント学部
3. 空を眺めること
4. 好きなものに囲まれて猫とのんびり暮らしたい!

雨垂れ石を穿つ



つかもと ゆか  
**塚本 柚果**

1. 鳥取県米子市
2. 大阪府立大学 地域保健学域
3. お笑い
4. 強くても柔らかい人になりたい

一期一会



ほや みく  
**保谷 未来**

1. 千葉県八街市
2. 中央介護福祉専門学校 介護福祉科
3. バスケ・ランニング
4. 資格を取得し、福祉全般にかかわっていきたい

自分と向き合う



わたなべ まみ  
**渡邊 麻美**

1. 新潟県上越市
2. 聖学院大学 人文学部
3. TRPG(ゲーム)
4. 子どもの虐待や、心の傷のケアへ携わりたい

情けは人の為ならず

## REPORT

### 半年間にわたる新入職員研修で 多角的にケアを学ぶ

4月3日の入職式から新入職員研修がスタートしました。福祉楽団の新入職員研修は、半年間をかけ、ケアの現場に必要な知識や考え方を幅広く学べるプログラムとなっています。修了すると「介護職員初任者研修」の資格を取得できるため、福祉を初めて学ぶ職員にも好評です。今年は、芸術家のこまちだまおさんによる「ケアとア

ト」、ケアコラボ社の藤原士朗さんによる「ケアコラボを活用したケア」などの新たなテーマを追加し、より多角的な視点からケアを考えられる内容になっています。研修を通じて多くの実践が生まれることを期待しています。



text:  
コーポレート統括部  
高師 利紗



## 福祉楽団の理念に沿った良いケアの実践 「ガクダンアワード」を開催しました！

GAKUDAN  
AWARD★  
2022 ガクダンアワード



良いケアの実践を共有し、法人全体のケアの質を向上させることを目的に、福祉楽団では毎年「ガクダンアワード」を開催しています。6回目となる今回は、4月18日に東京ディズニーリゾート内のホテルで開催しました。審査員には外部の有識者を招へいし、1次選考を通過した9名の職員が理念に沿った好事例を発表しました。そのうち3名が受賞しています。

### 外部審査員講評 >>



かない ひとえ  
金井 一薫さん

ナイチンゲール看護研究所  
所長

それぞれの発表は利用者さんを深く観察し、持てる力を活用して状況をプラスに変化させた事例でした。今年は特に「科学的なケア」という側面が色濃く出ていました。大きな進歩です。みなさんが使っている「ケアのものさし(※)」は1991年につくり30年が経ちますが、今年はその使い方をさらに明確にしたいと考えています。実践の結果の評価に根拠を持たせたいのです。表現は変えませんが、方向性が出ましたらお伝えします。発表にあった「入浴」に関して、最近考えていることを申し上げます。入浴はしっかり湯船に入ることをイメージしますが、高齢になり体力が衰えている方に、果たして長時間の入浴が必要なかどうか？それによって、むしろ生命力を消耗させないかと。入浴ケアは外せないものという考えが定着していますが、シャワーにしたり清拭だけにしたりと、工夫の余地があると思うのです。23年度、ますます成長することを願っています。

※ケアのものさし

1. 生命の維持過程・回復過程を促進する援助
2. 生命体に害となる条件・状況を作らない援助
3. 生命力の消耗を最小にする援助
4. 生命力の幅を広げる援助
5. もてる力・健康な力を活用し高める援助



馬場 拓也さん

社会福祉法人愛川舜寿会  
常務理事

「ガクダンアワード」は法人として意義があり必要であることは言うまでもありません。ですがもっと必要なのは、みなさんが365日の日常をどう過ごすかです。「ケアコラボ」(ケア記録システム)を使ったご家族との日々のコミュニケーションが、どういう速度で、どういう温度で広がっていくかが重要だと考えています。みなさんのケアの日常には、これからの日本にとって大切なことがたくさん含まれています。ですが、それはガラパゴスになっていて、多くの人が知らない世界になってしまっています。宝石箱のようなものだから、それを取り出して、一人でも多くの友だちや家族に言語化して伝えてほしいです。「ケアコラボ」がなかったとしても、みなさんならこの365日の日常を外側に向けて発信できていると思います。ケアの知見をご家族に共有しつつ、また1年間、生き生きと働いてもらいたいと思います。



野村 陽一さん

一般社団法人オーウェル  
代表理事

ケアにおいては、ナラティブな「定性面」と、生理学で測る「定量面」との、両方の理解が必要になります。たとえば、入浴の場合、入浴することで水圧により心負荷がかかり、血圧や脈拍、体温も上がるので体力が消耗するという側面と、一方で、心臓は筋肉でできているため強くなり、毛細血管は拡張してさまざまな器官の機能維持につながるという側面があります。そのような人体の構造と機能を理解し、「ケアコラボ」などのデータから「定量面」にも取り組む皆さんは、国内において間違いなくケア業界の先端にいます。今回いちばん嬉しく思ったのは、かかわらせていただいている新入職員研修で見た顔の人が、たくさんノミネートされていたことです。真っすぐに伸びる皆さんは、めちゃくちゃ格好よく、輝き、言い表せられない想いでいっぱいです。これからも、皆さんの成長に負けずに、私も切磋琢磨します。

### 最優秀賞

「すーばーおばあちゃん」



はなぶさ  
英 りま・3北西チーム  
杜の家やしお

### 優秀賞

「杜の家のみんなと心穏やかに過ごしたい」



ひびき  
吉田 響  
杜の家やしお

### 特別賞

「積み木-KさんとCさんとCCCの2年間-」



とものり  
藤堂 智典・香取CCCチーム  
香取CCC

### ガクダンアワード

応募者数 37件

応募職員数 22名

#### ◎ノミネート者(発表者名50音順)

遠藤 瑞季 杜の家やしお  
「お風呂上がりの一杯と歌番組鑑賞」

藤堂 智典 香取CCC  
「積み木-KさんとCさんとCCCの2年間-」

大岩 詩乃 杜の家なりた  
「ここで最期まで面倒みてくれねえかな」

英 りま 杜の家やしお  
「すーばーおばあちゃん」

奥住 比沙子 杜の家なりた  
「言葉をケアに繋げる」

山本 詩菜 杜の家なりた  
「在宅生活におけるショートステイの役割」

菅谷 日奈子 杜の家くりもと  
「ケアは続くよどこまでも」

吉田 響 杜の家やしお  
「杜の家のみんなと心穏やかに過ごしたい」

高柳 陽菜乃 杜の家なりた  
「持てる力を活かしてよりよい暮らし」

#### ◎プロジェクトメンバー(50音順)

小川 彩美、鎌田 富貴子、加茂 航平、高師 利紗、武田 友織香、田部 奏衣、英 りま、松井 周星、山本 詩菜